



写真提供/（公財）野口英世記念会

横浜市 長浜ホール「野口英世博士への手紙コンテスト」原稿用紙

学校名

小泉学校

6

年

4

組

名前

山本 隼遠

拜啓 野口英世様

天国でいかががお過ごしですか。私は、コロナの爆発的な感染拡大でこわさいっぱいの夏休みを過ごしています。

あなたの伝記を読ませていただきました。赤ちゃんの時の大やけどの場面、何度も読みました。お母様は、この何倍もの、表現でいきなほどの衝撃を受けられたと思います。しかし夜までよく勉強にはゆむことで、人生を切り開く最初の一步をふみ出せたのも、お母様の強さのおかげですね。

貧しく、手に障がいをおい、そして不便な土地での生活はさる、大変だったと思います。が、それをすべて信念に変えて世界に認められた一生に金メダルをさしあげたいです。

二つお願いがあります。天国でお母様の肩を両手でもんであげて下さい。そしてコロナに勝つために研究してくれている人に応援をお願いします。